

サンビ校の授業は“本物”に触れられる だから『やる気』が湧いてくる！

作業療法学科

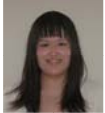
言語聴覚学科

ここ！
サンビ品質

福祉の実践現場を活用した体験授業

障害を抱えながら暮らす方々の支援は、教科書的な知識を蓄え資格を取得しただけでできるものではありません。人の人生は十人十色。本校は一人ひとりの人生に寄り添う力を実践現場で伸ばしていきます。

人生の師から学ぶ (生活の知恵・生き方・教え方)



お年寄りのたくましさに敬意

言語聴覚学科 7期生 今井未来

ふれあい学習ではお年寄りの方々と接する中で、コミュニケーションの取り方を学びます。戦争や、その後多くの子供を育てた体験等をお聞きしましたが、苦勞の連続だったとのことでした。

「あの時は苦勞したけど、今は楽しいよ」と語るその姿から、困難な事から逃げずに立ち向かうことの大切さを学びました。



使う人の立場になって作る



学ぶのは「作り方」ではなく“使いやすさ”

作業療法学科 9期生 南あおい・須澤望

作業療法士は、障害で失われた能力を補うために様々な道具を製作します。その過程で、使用される方の身体状況や生活場面を把握することが大切となります。使う方の目線に立ち、道具が体の一部となるように、工夫を重ねていきます。



教員が現場で指導



見て・盗んで・身につける

作業療法学科 10期生 久保彰範

本校の先生方は母体施設にも関与しており、我々学生は実践現場の中で先生方から直接指導を受けることができます。コミュニケーションが苦手な私も先生から教えてもらったコツを意識してみると不思議と会話が長く続きました。お年寄りが暮らしてきた時代にスポットを当ててみると自然にお年寄りが主役になり、昔を回想する過程で元気がよみがえってくることを実際の場面で体験し、コミュニケーションにおける話題の選び方が身につきました。



ここ！
サンビ品質

介護福祉学科

多彩な講師陣による魅力溢れる授業

心を揺さぶられる・・・様々な感情が湧き上がる・・・自分を見つめる・・・考え方が変わる。
そして、自分に自信が持てる。そんな2年間があなたを待っています。

心が動く、考え方が変わる



本当の自分に出会えた

介護福祉学科 9期生 近藤良太

勉強とは無縁の高校生活の後、なんとなくサンビ校に入学したのですが、学生生活を送る中で、当たり前なことを当たり前にする大切さ、自分のことも満足にできない人間が、他人の世話などできないという事実、一生懸命ものごとに取り組む中から生まれる喜びなど「人としてのあり方」を教えていただき、徐々に自身の生き方についても考えられるようになりました。



行動が変わると、自信が持てる



行動した自分へのご褒美

介護福祉学科 13期生 富田朱美

2年生になり卒業や就職を意識したとき、このまま社会人になっていいのかという不安と危機感を感じ、初めて自分自身のために頑張ろうと思いました。今まで「私なんかやってもできるはずがない」とやらずに諦めていた私ですが、行動を起こし、真剣に取り組んだ結果、自分に自信が持てるようになり、卒業試験では最高点を取ることができました。

